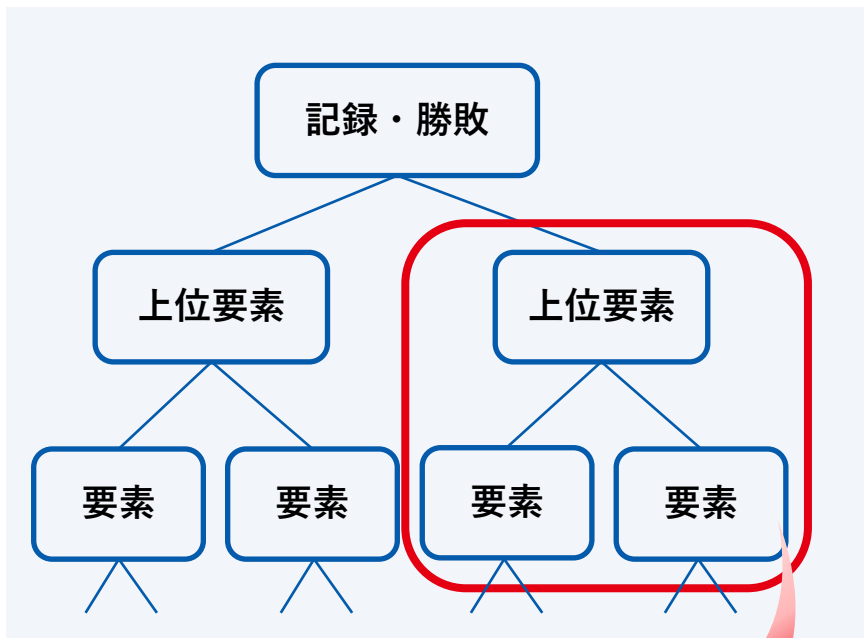
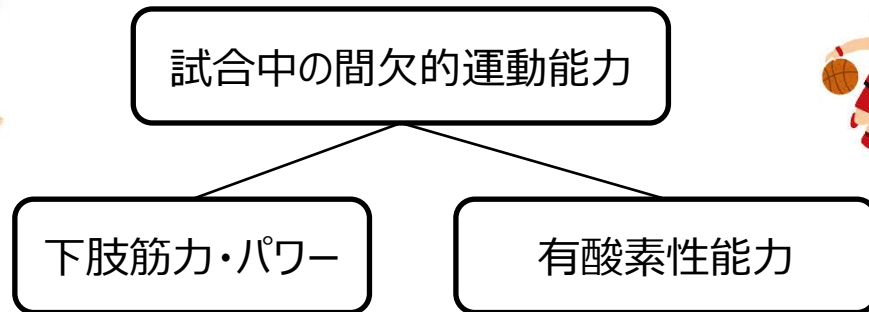


パフォーマンス構造モデルに基づいた支援プロセスの確立

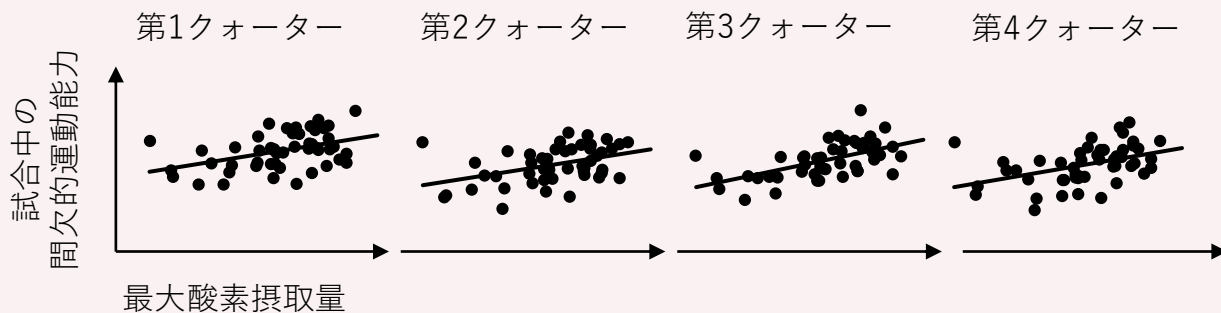


- ・モデル内の特定の上位要素と直下で構成する要素をミクロ的に観察する。
- ・構成要素の変化が上位の要素を改善・改悪する機序を明らかにする。

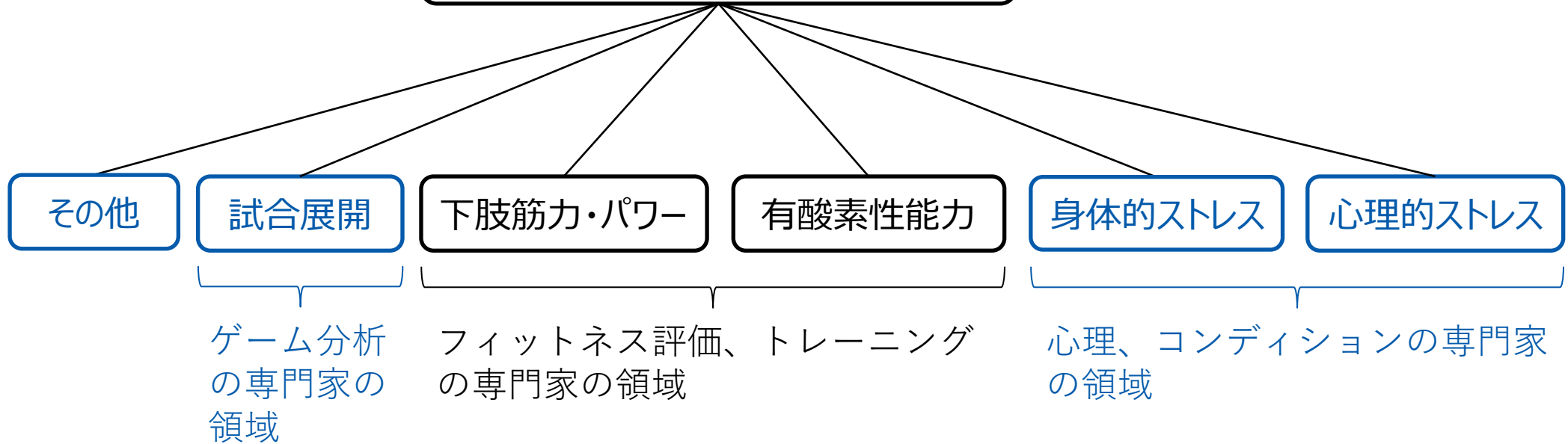
中項目1：球技・ラケット系種目における間欠的運動能力



2024年度実績（バスケットボールを対象に横断研究）



試合中の間欠的運動能力



試合中の間欠的運動能力の縦断的な変化（改善・改悪）に関連する要素として、体力だけではなく、その他の要素（試合前・中の心理的・身体的ストレスや試合展開など）の影響について体系的にまとめる。

→総合型サポートにつながる知見・経験が得られる。